

## 3 階ユニット

看護師長 竹田 貴子

### 1 部門目標

子どもと家族を取り巻く全てを見据えた支える看護の継続

### 2 業務体制・スタッフ

小児科外来と小児科病棟（HCU4床を含む42床）の一元化ユニット

受け持ち制、固定チームナーシング、7対1看護体制

小児入院医療管理料1を取得

看護師39名、看護補助者3名、保育士3名

### 3 業務実績

平成30年度の1日平均患者数29.2人、病床稼働率69.5%、平均在院日数3.7日

死亡件数2人

昨年と比べ、1日平均患者数は3.9人減少、平均病床稼働率は9.3%現象、平均在院日数に変化はなかった。

### 4 1年間の総括

退院支援を充実させるための基板を整えることを目的に、退院支援カンファレンス・倫理カンファレンス・スキルアップカンファレンスを定期的で開催していった。その結果、看護師は知り得た情報をカンファレンスで共有し、入院という制約の中でも子どもの入院生活が潤うよう、チームが協力をして支援をすることができるようになっていった。具体的には、長期入院を強いられている子どもに対し、希望していたきょうだい面会ができるよう調整をしたり、達成感が得られるよう学習発表会を企画したりした。こうした取り組みをきっかけに、子どもは治療を前向きに捉えられるようになっていった。今後も、子どもと家族の多様性に応じた支援ができるよう、チームを中心にスタッフ全員で検討を行っていききたい。

### 5 今後の目標

今後は、リスクアセスメントの強化が必要であり、医療者としての能力を向上していくために、シミュレーション教育が必要と考える。しかし、スタッフは災害や急変時の対応を身近に想定できないため、リアリティのあるシミュレーション教育に結びついていない。そのため、十分なリスクアセスメントができず、リアリティのあるクライシス対策が実践できていない現状がある。今後は、より身近なこととして捉えやすい事例を用いて、シミュレーション教育を行い、医療者としての能力を向上していくことが目標となる。